



1月園だより

令和7年 1月 4日
目黒区立大岡山保育園園長

新年明けましておめでとうございます。新たな1年のスタートを迎えますが、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

保育園の園庭は日陰が半分以上占めながらも、寒い日でも北風が吹かなければ身体を動かして遊んだり、日向の場所では、砂や水を使いながらままごと遊びなどをしたりして楽しめます。ある日、1歳児クラスの保育士がタイヤを傾斜させて並べ、その先にタイヤを2段垂直に積み、バスマットを置いてアスレチック風な遊具を作りました。1歳児の中でも大きい月齢の子は臆することなく、面白がって四つ這いで渡り、頂上のバスマットのところでトランポリンのようにぴょんぴょん飛び跳ねることを繰り返し楽しんでいました。その様子を見た小さい月齢の子どもたちも真似をしようと必死に登りゆっくりと四つ這いで進みます。マットのところに着き、ジャンプしようとはしますが、思うように両足跳びはできません。それでも、肩に力を入れながら弾もうと頑張っている様子がとてもほほえましい光景でした。同じクラスでも、月齢差がある0、1歳児クラスでは自分よりも大きい月齢の子の遊びが良いお手本となり、自分の遊びとして取りこんでいる姿が多く見られます。日々の遊びの中で『憧れ』を感じ真似をすることで自分のできることや楽しいことを増やしていきます。

『真似るは学びの第一歩』と言われることから、遊びを真似て楽しむことも大切な場面として捉え、子どもたちがより遊びを広げていけるような1年にしていきたいと思います。

今月の予定

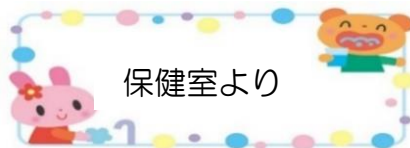
新年を祝う会 3. 4. 5歳児
乳児お楽しみ会 0. 1. 2歳児
中旬 身体計測 避難訓練

2月の予定

中旬 身体計測 避難訓練

懇談会の日程

《1月》 5歳児クラス
3歳児クラス
《2月》 4歳児クラス
2歳児クラス
1歳児クラス
0歳児クラス



保健室より

～4歳児クラスと5歳児クラスに手洗い指導をしました～

インフルエンザなどの感染症が増えてきました。風邪の対策には手洗いが大切です。寒くなると、手洗いが雑になってしまいます。そこで、普段通りの手洗い後、洗い残しがあるのか手洗いチェッカーを使い自分で確認してみました。爪の間や手の甲などの洗い残しを見て、驚く子や神秘的な顔をしている子など、反応は様々でした。最後に手洗いの歌で、手を全部洗えるように一緒に練習しました。

子どもたちは手洗い名人なので、ぜひご家庭でもお子様と一緒に手洗いをしてみてください。



今こんな遊びにはまっています

1歳児クラス

「いってきまーす」と保育士や友達に手を振り、電車に乗ってお出かけごっこに出発です。片手には携帯電話に見立てたかまぼこ板、反対の手にはお弁当箱を入れたバッグを持ち、ままごとコーナーの椅子を並べ電車に見立てたところに座っています。友達がお出かけごっこをしている姿に気が付くと「自分も」とバッグを取りに行ったり、電車に乗り込んだりする子どもの姿もあります。途中で「お買い物に行かなきゃ」「水族館に行こう」と話したり「もしもし〜」と誰かと電話をしたりとそれぞれのイメージでお出かけごっこを楽しんでいます。

子どもたちは保育士や友達と経験した事を遊びの中で楽しんでいます。日頃の生活が見えるようで微笑ましい姿がたくさん見られます。子どもたちのイメージを理解しながら一緒に楽しんでいます。



2歳児クラス

戸外に出ると自分たちで家にする場所を決めて「トントントン何の音？」という遊びを楽しんでいます。保育士が「トントントン」とノックをすると「何の音？」と子どもたちから返ってきます。「おばけの音」と言うと大喜びしながら逃げていき、追いかけて楽しんでいます。逃げた後は「もう1回」と家に戻り「次は何の音だろう」とドキドキしながら待っています。最近は子どもたちが考えて、自分たちでイメージしながら「鬼の音」「ティラノサウルスの音」「怪獣の音」など様々な音を考えて楽しんでいました。

保育士も一緒にイメージを共有しながら、繰り返し遊んでいきたいと思っています。

4歳児クラス

今までトランプではババ抜きやジジ抜き、ぶたのしっぽを楽しんでいましたが最近は少しレベルアップした「スピード」で盛り上がっています。トランプを赤と黒の色で2つに分け、お互いに出したカードの前後の数字を出していくゲームです。初めはJ、Q、Kなどが難しく「わからないからできない」と言っている子もいました。ルールをよく分かっている子が「これは11、これは12だよ」「この次に出せるよ」など教えてくれるので少しずつできる子が増えていきました。「スピード勝負しよう」と声をかけ、勝負が始まるとまわりにはその勝負を見届けようとたくさんの友達が集まってきます。「〇〇ちゃん頑張って」と応援団が見守る中で真剣に勝負しているのですが、残念ながら負けてしまうと悔しくて泣いてしまう子もいます。すると、「もう少しだったよ。もう1回やってみたら」と友達が優しく声をかけてくれ、またやってみようとする姿もあります。勝ったり負けたりいろいろな気持ちを味わいながら、友達と遊ぶことを楽しんでいます。

